

イマズスルフロン・オキサジクロメホン・ピラクロニル剤 サラブレッド KAI (1キロ粒剤 / フロアブル)	取扱メーカー： 協友アグリ, サンケイ* 原体メーカー： 住友化学, 全農, 協友アグリ
成分： イマズスルフロン〔スルホニルウレア系〕0.9% (粒剤), 1.70% (フロアブル) オキサジクロメホン〔オキサジノン系〕0.4% (粒剤), 0.57% (フロアブル) ピラクロニル2.0% (粒剤), 3.80% (フロアブル)	性状： 類白色細粒 (粒剤) 類白色水和性粘稠懸濁液体 (フロアブル) 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】

〈共通〉

- ノビエに安定した効果 (2.5葉期迄) と長期残効性を持つ一発処理除草剤。
- スルホニルウレア抵抗性雑草及び多年生難防除雑草まで幅広く優れた効果を示す。
- 効果の発現が非常に速い。
- 温度による効果変動が少ない。
- 田植同時処理が可能である。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

〈共通〉

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように散布する。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので、必ず適期に散布するように注意する。

雑草名	散布適期	
	粒剤	フロアブル
ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ	2葉期まで	
ヒルムシロ	発生期まで	
セリ	再生前～再生始期まで	
オモダカ クログワイ	発生前～発生始期まで	
コウキヤガラ	発生始期まで	
シズイ	草丈3cmまで	—
アオミドロ・ 藻類による表 層はく離	発生前	

【薬効・薬害等の注意】

〈共通〉

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 適用作物 (水稲) への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物 (いぐさ, れんこん, セリ, くわい) の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。隣接田で使用する場合は十分注意する。
- いぐさ栽培予定田では使用しない。
- オモダカ, クログワイ, コウキヤガラは発生期間が長く遅い発生のものまで十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
- 直播水稲栽培では、稲の根が露出する条件では薬害が生じるおそれがあるので注意する。

【安全対策上の注意】……………
 〈共通〉

- 藻類に影響を及ぼすので、使用時は注意。
- 無人ヘリコプター散布及び滴下の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。

【適用と使用法】……………

①サラブレッド KAI 1 キロ粒剤

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	移植時	1kg	田植同時 散布機で施用	1 回※
	セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ シズイ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで		湛水散布 又は無人ヘリコプ ターによる散布	
直播水稻	水田一年生雑草 ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 但し、 収穫90日前まで			

※イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数：2 回以内
 ※オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数：2 回以内
 ※ピラクロニルを含む農薬の総使用回数：2 回以内

②サラブレッド KAIフロアブル

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	移植時	500 ml	田植同時散布機で 施用	1 回※
	オモダカ クログワイ コウキヤガラ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ ノビエ2.5 葉期 但し、 移植後30日まで		水口施用	
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ セリ	稲 1 葉期～ ノビエ2.5 葉期 但し、 収穫90日前まで		原液湛水散布又は 無人ヘリコプター による滴下	

※イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内

※オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内

※ピラクロニルを含む農薬の総使用回数 : 2 回以内